

熊本地震 支援活動報告 No.5

● 義援金に関する報告

清心慈愛園・清心乳児園地域交流会売上金 及び 募金箱からの義援金送金状況

(1) 熊本地震支援のための義援金（送金日：平成28年6月7日）

- ① 義援金送付先 : 龍谷大学文学部哲学科教授・臨床心理士 森田喜治 様
義援金額 : 10万円

- ② 義援送金先 : 全国乳児院福祉協議会（九州乳児院福祉協議会経由）
義援金額 : 20万円

● 支援活動に関する報告（支援物資の運搬）

(1) 運搬日 : 平成28年4月18日（月）

運搬先 : ヒューマンケア富合 熊本市南区富合町廻江 829
運搬者 : 富の里職員 藤崎陽子・柴田安子・宮崎直人
支援物資 : 水、紙コップ、紙皿、割りばし、おしぼり、トイレットペーパー、ホッカイロ、生理用品

(2) 運搬日 : 平成28年4月19日（火）

運搬先 : 熊本乳児院・慈愛園乳児ホーム・広安愛児園
運搬者 : 清心乳児園園長 平田ルリ子・清心慈愛園副園長 平田浩
支援物資 : 水、離乳食、大人用非常食、ウェットタオル、おやつ、生理用品、野菜

(3) 運搬日 : 平成28年4月19日（火）

運搬先 : 熊本県江津湖療育センター
運搬者 : 聖ヨゼフ園職員 田中茂喜・和佐野登美夫
支援物資 : 聖ヨゼフ園保管の非常食、紙コップ、紙皿、使い捨て手袋、ラップ、ランタン、懐中電灯、ヘッドライト、延長コード、おむつ用パット

- (4) 運搬日 : 平成28年4月20日(水)
運搬先 : 社会福祉法人聖母会 聖母の丘・カトリック手取教会
運搬者 : 富の里園長 平田直之・篠原の里園長 田中英樹
支援物資 : 水、パン、お菓子、使い捨て容器、黒ビニール袋、生理用品



- (5) 全国社会福祉法人経営者協議会(青年会)会員施設からの支援物資一時保管及び熊本への搬送対応

搬送先 : 社会福祉法人リデルライトホーム 熊本市中央区黒髪5-23-1
保管場所 : 社会福祉法人慈愛会 医療福祉センター聖ヨゼフ園地域交流ホーム





● 支援活動に関する報告（職員派遣：福岡県老人福祉施設協議会）

- (1) 派遣先：老人総合福祉施設 グリーンヒルみふね
派遣期間：平成28年5月15日～5月17日
派遣職員：富の里職員 戸塚浩介・山下佳孝 2名

【支援活動報告】

5月15日

7:00 富の里出発。9:30 頃。グリーンヒルみふね到着。高速道路は、終始スムーズに走行でき、大きな混雑はなかった。

到着後、事務職員の方に施設の簡単な説明を受ける。その後、特養職員の方と一緒に戸塚、山下2名との排泄介助を行う。職員の方の補助的なことを行う。

11:00 頃 レク活動実施後、食事介助を行う。

12:45 頃 休憩を1時間とり、休憩後はレク活動実施。

15:00 頃 館内清掃実施。

15:30 頃 午前同様の排泄介助を実施。

16:30 頃 離床介助を行い、1日目終了。

(所感等)

17:30 頃より、戸塚、山下にて施設周辺～熊本市内の被害状況を視察。
現在までに、震度3以上の余震が1回発生。

5月16日

8:00 戸塚、山下ともに食事介助、口腔ケア、トイレ誘導を行う。

10:00 頃 戸塚排泄介助、山下入浴介助を行う。

12:00 頃 2名とも食事介助を行う。

13:00～14:00 休憩

14:00 戸塚、居室清掃とフロア対応。山下、入浴介助を行う。

15:00 2名とも水分補給を行う。

16:00 2名とも排泄介助を行う。

17:00 終了

(所感等)

避難されている地域の方は、ボランティアと同じホールに夫婦1組、子供連れの方1組。
帰宅困難な独居の方等が約10名特養棟にいる。

職員配置について。2日間を見る限り、特に不足している様子は見られない。

5月17日

8:00 戸塚、山下ともに食事介助、トイレ誘導を行う。

10:00 頃 山下、排泄介助後入浴介助。戸塚、入浴介助を行う。

12:00 配膳行い終了。

(所感等)

中村部長へ挨拶し、14:00 グリーンヒルみふねを出発。益城町、南阿蘇村の視察を行う。

益城町の状況は、総合体育館にはまだたくさんの方々が避難されており、周辺の被害が大きく、倒壊している住宅が多い。道路にも亀裂があったり、段差ができていた。

南阿蘇村は、通行止めが多く孤立している状況。

18:00 小池高山 IC より、九州自動車道路へ。一部区間の渋滞はあったが、大きな混雑なし。

20:35 富の里到着。

(2) 派遣先：老人総合福祉施設 グリーンヒルみらね

派遣期間：平成28年5月22日～5月24日

派遣職員：富の里職員 徳安 緑・吉本恵理香 2名

【支援活動報告】

5月22日

7:00 富の里出発。9:10 頃。グリーンヒルみらね到着。高速道路は、終始スムーズに走行でき、途中一車線での通行となっていたが、大きな混雑等はなかった。到着後は、特養介護係長に施設の簡単な説明を受ける。

その後、特養職員の方と一緒に吉本、徳安 2 名とも 10 時頃より、オムツ交換（女性、男性）に入る。

11:00 頃 離床介助、トイレ誘導を行う。

12:10 頃 食事配膳、食事介助を行う。

12:45 より休憩を 1 時間とり、休憩後は入浴介助を実施。

15:00 水分補給、コップ後片付け実施。その後は、しばらく利用者とコミュニケーションをとる。

16:00 午前同様に、オムツ交換に入る。16:45 離床介助を行い、1 日目終了。

(所感等)

17:30 より徳安、吉本にて施設周辺～熊本市内の被害状況を見て回る。現在までに震度3以上の余震が1回発生。特に揺れは感じられず。

5月23日

7:00 朝食（中村部長より、おにぎりの支給あり）

7:45 中村部長より、震災の状況や施設の現状について説明を受ける。

8:10 特養にて食事介助。吉本、徳安ともに利用者 2 名の食事介助実施。

9:20 徳安、職員とともに臥床介助を行い、トイレ誘導（4 名）行う。

9:30 吉本、係長、八女の里職員とシーツ交換実施。9:45 徳安、シーツ交換に合流。

10:08 震度3の地震発生。建物、体に揺れを感じる。

11:30 離床介助を行う。

12:10 食事介助実施。徳安 2 名、吉本 2 名介助。

13:00 休憩（グループホーム職員より、おにぎりの支給あり）

14:00 吉本、グループホームにて、説明を受け、その後は入浴の着脱介助実施。
徳安、特養利用者の入浴介助（着脱介助、ドライヤー）。

15:00 おやつ提供。

15:30 利用者との散歩、着脱介助実施。

- 15:45 トイレ誘導（職員と5名実施）
- 16:00 オムツ交換
- 16:45 徳安、吉本2名での離床介助実施。

（所感等）

職員と話すなかで、「元気ができました。」と笑顔で言われた。2日目から吉本、徳安と別れて支援を行った。

5月24日

- 7:00 朝食（部長より、パン、プリンの支給あり）
- 8:00 徳安、特養にて2名の食事介助実施。
吉本、グループホームにて食事の後片付け実施。
- 9:00 吉本、地震で壊れた食器や支援物資の片付け。
- 9:30 徳安、職員と2名介助の利用者トイレ誘導。
- 10:10 徳安、オムツ交換。11:00 入浴介助。（着脱、ドライヤー）
- 11:30 吉本、利用者とのコミュニケーション。歩行介助実施。
- 11:50 徳安、2名介助の利用者離床介助。
- 12:00 食事配膳。食事介助2名。
利用者との食事。（グループホームより、おにぎりの支給あり）
- 12:30 ボランティア終了し、利用者や職員へ挨拶を行う。
- 13:00 中村部長へ挨拶。

（所感等）

熊本市内視察後に帰園予定。

（3）派遣先：老人総合福祉施設 グリーンヒルみふね

派遣期間：平成28年5月25日～5月27日

派遣職員：富の里職員 澁田永一・寺田孝生 2名

【支援活動報告】

5月25日

- 7:00 富の里出発。9:40 グリーンヒルみふね到着。高速道路は、途中一車線での通行となっており、そのあたりから3km程渋滞。
到着後、中村部長から施設の簡単な説明と施設案内をしていただく。
- 11:00 特養にて、澁田は離床介助。寺田は入浴介助に入る。
- 12:10 澁田、寺田食事配膳、介助を行う。
- 13:00 休憩
- 14:00 澁田、寺田入浴の脱衣介助実施。
- 15:00 寺田、ロビーにて水分補給介助、コップ片付け実施。その後は、しばらく利用者とのコミュニケーションをとる。
- 15:30 澁田、ロビーにて利用者とのコミュニケーション。
- 15:50 澁田、特養職員と共にトイレ誘導実施。
- 16:30 澁田、特養職員と2名にて離床介助を行う。

17:00 澁田、寺田ロビーにて利用者とコミュニケーション。

17:30 1日目終了

(所感等)

現在までに震度1の余震発生。少しの揺れを感じた。施設被害は目立ったものはなかったが、ひび割れや、扉が開かなくなった等の被害はあったとのこと。説明を受けた際に、備蓄の必要性や明かりの確保の重要性を感じた。

5月26日

寺田（デイサービス配属）

8:00 デイサービスにて利用者とコミュニケーション。

9:30 利用者へ水分の配膳及び介助。

10:00 朝の挨拶で利用者へ自己紹介。

10:30 体操の補助に入る。

11:00 利用者とのぬり絵を行う。

11:30 昼食配膳及び介助

13:00 休憩

14:00 ボール体操補助

14:30 レクリエーション補助

15:00 余暇の時間でぬり絵及びパズルを行う。

16:00 利用者見送り

17:00 終了

澁田（特養配属）

8:00 特養にて食事介助

9:30 職員と臥床介助、トイレ誘導を行う。

10:00 入浴の着衣・着脱介助。

11:30 離床介助

12:00 食事配膳・介助。介護主任より、夕食の介助に入って欲しいとのこと、休憩を長めにとってもらいたいとの依頼あり。

13:00 休憩

15:30 居室にて休まっている利用者へ水分提供を行う。

16:00 職員と一緒にトイレ誘導。

16:45 職員と2名で離床介助。

17:00～30 食事準備及び介助。

18:30 終了

5月27日

7:30 朝食（部長より、おにぎり、ゆで卵の支給あり）

8:00 澁田、寺田。特養にて食事介助。

9:30 澁田、職員と2名介助の利用者のトイレ誘導。

寺田、利用者とのコミュニケーション及び見守り。

- 10:00 澁田、入浴の着衣着脱介助を行う。
寺田、水分補給介助、利用者とコミュニケーション及び見守り。
12:00 澁田、寺田。食事配膳、食事介助を行う。
13:00 終了

(所感等)

帰りにデイサービスに顔を出すと利用者の方々から「あなたが来てくれて本当によかった。楽しかった。まだ帰らんで〜。」という言葉頂き、少しでも力になれたのかなと充実した気持ちになった。利用者の笑顔を見るだけでもこちら元気がなった。
物資は沢山の援助もあり、通常に戻りつつあるとのことだが、出勤できない職員もいるため、ボランティアが来てくれることは大変助かっているとされた。利用者はピーク時より減ったとのことだが、依然として4人用の多床室に6人利用、廊下にベッドを設置されている状況である。

(4) 派遣先：養護老人ホーム愉和荘（運営主体 熊本市社会福祉協議会）

派遣期間：平成28年5月11日～5月13日

派遣職員：篠原の里職員 西依 暁 1名

【支援活動報告】

5月11日

- 7:15 篠原の里出発
9:10 愉和荘着
植木インターより左へ道なり(3号線)。植木温泉の看板から右折し(53号線)
途中左手にファミリーマート。さらに道なりに進み、川を渡って点滅信号より右手に細い路地へ入ると右手に愉和荘の表札を認める。
9:15 緒方施設長に館内の案内をして頂く。
9:30 バイタルチェック お名前などは利用者に尋ねながら確認。
10:00 排泄介助 職員と2名介助にて移乗、パット交換を実施。
10:15 居室、Pトイレ、共同トイレ掃除
11:00 洗濯物たたみ、移室者の荷物移動
11:30 10時に回れなかった利用者の排泄介助。離床介助。
11:50 食事介助(森田氏男性、高宮氏男性) 高宮氏はムセが見られる。
12:30 休憩、食事。
13:30 臥床介助。Pトイレ掃除
14:30 おやつ。利用者とは会話。
15:30 排泄、清拭介助。点眼薬介助。
16:20 夕食準備、誘導
16:50 食事介助(関本氏女性、高宮氏男性)
17:15 業務終了
17:20 緒方施設長へ挨拶、報告行う

(所感、その他)

利用者へ挨拶を行うと、しばらく話し込まれて「聞いてもらえてよかった、暇で暇で。」と

の発言や「散歩にいきたい」との希望が聞かれたりした。しかし、本日の日勤者が2名のみで、そのうち1名は午後から会議など利用者の希望に対応ができないことを話される。また、日勤者が1名の日もあるとのこと。移乗介助時など腰を痛そうにされている職員もあり、疲労が溜まっている様子が伺える。利用者も、篠原の里に比べると車椅子や紙オムツ使用者が多く、全体的に介護度が高い。継続的な人的派遣が強く必要と感じられた。

夕食については好きな時間に頂いてよいとのことで、19:30に食事することを伝える。

5月12日

- 5:30 数名の利用者が起床し始める様子
- 7:30 朝食
- 8:10 食事介助（松山氏女性）閉眼されておりなかなか進まず。
- 8:50 ラジオ体操+篠原の里の体操を少し行う。皆さん一緒に真似をして体操されるが、「いつもはこんな長くしません」と止められる方もいた。
- 9:30 バイタルチェック。1日目と同様に利用者に名前を尋ねながら実施。
- 10:00 お菓子販売。臥床介助、排泄介助。
- 11:20 入浴介助。女性4名。1名男性がいる為嫌だと帰られ、午後入浴される。
- 11:50 食事介助（関本氏女性、吉岡氏女性、牧氏女性）
牧氏、ティルト式車椅子使用。開口小さく飲み込み悪い。吉岡氏、あまり食事進まないが、さじに少しずつ提供すれば開口される。
- 12:50 食事、休憩
- 13:30 入浴介助（男性5名）
- 15:50 食堂などでおやつを召し上がられている利用者と会話して過ごす
- 16:00 離床介助
- 16:20 夕食準備
- 16:50 食事介助（高宮氏男性、吉岡氏女性） 高宮氏、強いムセこみあり注意必要。
- 17:20 口腔ケア
- 17:50 業務終了

（所感、その他）

朝、気付くと襖が開いており、夜勤の方にも「眠れんやっみたいやね、何回も襖開けよつたろ？」と聞かれる。恐らく利用者が開けられていたと思われる。7:30に朝食開始となるが、食事介助を必要とされる利用者が多く、職員が足りず、長く食事を待つ利用者もあり、時間より早めに業務につくこととした。入浴介助にて、ヘルパーを利用しながら負担を減らせるようされているが、避難されてきた利用者はヘルパーを使えず、中には介護度が高い方もおり職員の負担につながっている。お風呂は、温泉施設と変わらない造りとなっており、源泉掛け流しで利用者も気持ちよさそうに入浴されていたが、週に2度程しか入れられないと職員より話される。夕食時に地震があり、食堂が揺れる。職員が「あっ、地震!!」と大きな声を出される。揺れ自体は大きくなかったが、敏感に反応され、恐怖心が残っている様子が伺えた。業務について、移乗や排泄、入浴介助、など直接的な介助のニーズが高く、現場経験者が必要とされていることを感じた。

5月13日

- 1:05 地震あり。2日目の夕食時よりも大きく感じる。
- 7:30 朝食
- 8:30 業務開始 利用者与会話
- 8:50 ラジオ体操+篠原の里の体操
- 9:30 バイタルチェック
- 10:00 レクリエーション
簡単な手遊びや頭の体操、赤白旗ゲーム、都道府県クイズなどを実施。職員より「利用者は退屈しているし、私たちも（レクが）分からないからいつもカラオケを流している」とのこと。利用者は集中して取り組まれる。
- 11:00 排泄、離床介助
- 11:50 食事介助（鈴木氏女性）、口腔ケア 表情、動きないが開口よく摂取される。後半食べ疲れが見られる。
- 12:30 休憩
- 13:30 JA よりスイカ寄贈。利用者、職員嬉しそうにされ、記念撮影。
入浴介助。女性2名、男性1名。女性2名はシャワーキャリーにてシャワー浴対応。
- 15:00 おやつ対応、排泄介助
- 16:00 配茶、離床介助
- 16:50 食事介助（関本氏女性）
- 17:20 業務終了。利用者、職員、緒方施設長へ挨拶する。利用者より「ありがとうね」「また来てね」「頑張ってるね」との言葉がある。

（所感、その他）

3日間を通して電波が悪く、地震、災害情報などの確認が遅れる。

2日目の所感としても記入したが、愉和荘にて必要とされている業務としては、人手が足りず職員が疲労しており、食事介助、移乗、排泄（紙オムツ、パット）、入浴介助などであり、現場経験者が望ましく思われた。避難されて来られる方が多く職員も名前を間違える様子が見られ、対応に追われてボランティアに依頼する余裕もないようにも感じた。篠原の里や富の里にて災害時に避難者を受け入れる、またボランティアを受け入れる際には、避難者の情報の把握、ボランティアに行きたく業務を明確にし、マニュアル化しておくことが必要だと感じ、現在のBCPについても改善する余地が多々あるように思えた。今後も業務の調整を行い、人的支援を継続していくことが必要である。

（5）派遣先：養護老人ホーム愉和荘（運営主体 熊本市社会福祉協議会）

派遣期間：平成28年6月7日～6月9日

派遣職員：篠原の里職員 岡村孝幸 1名

【支援活動報告】

6月7日

- 8:55 到着
- 9:00 館内案内(緒方施設長)
- 9:20 コミュニケーション・バイタルチェック

10:00 レクリエーション(体操・回想法)
11:00 食堂準備・誘導
11:45 食事介助
12:30 食堂後片付け
12:45 昼食・休憩
14:00 囑託医来診・誘導・見守り
16:00 夕食準備
16:50 口腔体操・歌
17:00 食事介助
17:15 終業
18:00 夕食

(所感等)

デイ利用が多く、在館は約 20 名。午前よりレクリエーションの依頼あり対応する。約 1 時間体操や回想法を行い、利用者より熊本や植木の名物などを出し交流を深める。午後は主に囑託医来診の対応を行うも、移乗や手引きの場面も多く介護力が欠かせない状況あり。また、男性の食事介助も昼・夕入った。要介護の利用者がほとんどで 2 名の職員の方は排泄や寝具交換に追われている。介護力やレクリエーションの能力が求められる初日であった。数回、余震もあったが不穏になる方はおらず比較的落ち着いた様子であった。地域からの避難者は 11 名。

6月 8日

7:40 朝食
8:00 朝礼
8:40 デイ送り出し・誘導
9:30 バイタルチェック
10:00 買い物注文対応
10:15 レクリエーション(体操・カラオケ)
11:15 食堂準備・誘導
11:50 口腔体操
12:00 食事介助
12:30 昼食・休憩
13:30 シーツ交換・誘導
14:30 移動図書館対応
14:40 おやつ対応(介助)
15:30 コミュニケーション
16:00 食堂準備・誘導
16:50 食事介助
17:15 終業

(所感等)

朝礼にて地域や他施設からの避難者は今月中に今後の行き先を検討し、決定する旨、緒方施設長より話あり。デイ送り出しは約 15 事業者の迎えが続き、職員の方は対応に追われてい

た。その後は10名ほどしか館内に利用者はおらずレクリエーションで体操やカラオケを行い、その間居室清掃を実施されていた。午後は会議などもあり、支援員が1人の状況もあり、一緒にシーツ交換やおやつ対応を行った。デイには行かれず残られた利用者が少ないこともあり、食堂に集まりながらレクリエーションや会話をして過ごす時間が多かった。

6月9日

- 8:30 朝礼
- 8:40 デイ送り出し・誘導
- 9:00 バイタルチェック
- 9:30 入浴介助
- 11:00 食堂準備・誘導
- 11:50 食事介助
- 12:40 昼食・休憩
- 13:40 コミュニケーション・点眼介助
- 14:30 おやつ対応(介助)
- 15:40 排泄介助
- 16:00 食堂準備・誘導
- 16:50 食事介助
- 17:50 終業(緒方施設長・利用者への挨拶)

(所感等)

利用者の入浴日でもあり、午前中から入浴介助や更衣介助を行う。シャワーチェアや体幹を支えるなど一部介助の方がほとんどであった。支援員の方は2名おられたが1名は入浴、もう1名は支援室対応と余裕のない状況であった。重度の要介護者にはヘルパーが入り、排泄、更衣、食事介助なども行われていた。緒方施設長より、福祉避難所として厚労省が視察に来るとの話あり、長期の避難となった場合に介護サービスが利用できない等の課題を伝えたいとの話もあった。3日間を通じ、非常に重度の利用者を少ない職員で効率よく支援をされていた。しかし、余暇時間などには手が回っていない状況があり、依頼されることが多かった。経験がないと対応できない状況ともなる。また、6月以降の避難者の行き先も注視する必要があり、今後の支援方法の在り方を検討しなければならないと感じた。

(6) 派遣先：益城町災害ボランティア（主体 糸島市社会福祉協議会）

派遣期間：平成28年6月15日（午前6時～午後7時）

派遣職員：篠原の里職員 久保顕士 1名